

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター この街きつず学園 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	2024 年 11 月 28 日 ～ 2024 年 12 月 19 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2024 年 11 月 28 日 ～ 024 年 12 月 19 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○訪問先施設評価実施期間	2025 年 11 月 28 日 ～ 年 月 日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 24 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かした支援	・療育のキャリアのある職員により、子どもへの具体的支援を目の前で行うことにより、現場での発達障がい児支援の理解と方法を学んでいただく。	・より良い支援・専門性の高い支援を目指していかれるよう、研修等自己研鑽に努めます。 ・研修等における人材育成も行していきたい。
2	研修の受け入れ	・保育士さんたちに実際の支援と一緒に行っていただくことで、保育園での発達障がい児支援の受け入れを広げていただく。具体的支援を見ていただき、地域で自分の担当するお子さんの困り感等話して一緒に支援の方法を探る。研修していただくことで、子どもたちにとって安心してわかりやすい環境を学んでいただきそれぞれの現場で実践していただく。	・広く具体的支援の研修を行っていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性のある職員の確保	・訪問支援員は、児童発達支援センターにおいてもそれぞれ役割がある中、5年以上の療育経験豊富な児童指導員や訓練士が就いている。専任ではないため、訪問に限度が生じ、利用できる家庭が限られてしまう。他事業所もあるがいっぱい。	・要望がある場合、誰が就くか検討し、ひとりの負担が大きくならないように配慮していく必要があると思っています。
2			
3			